

PRESS RELEASE

報道関係者各位

ノーベル賞受賞時の記者会見について

2025年のノーベル賞は10月7日（火）に物理学賞、8日（水）に化学賞がそれぞれ発表されます。本学では、ペロブスカイト太陽電池の開発者である宮坂 力特任教授の物理学賞または化学賞受賞が期待されています。受賞が決定した場合は、受賞当日に本学にて共同記者会見を行います。

共同記者会見について

【日時】 令和7年10月7日（火）または令和7年10月8日（水）※受賞した日に実施

/報道受付 18:15～

/共同記者会見 19:15～20:15

【場所】 桐蔭横浜大学 大学食堂2階

※例年と会場が異なります。案内図をご参照ください。



注意事項

- 当日の状況でスケジュールが変更となることがあります。
- 報道関係者を除く、一般の方の入場はお断りいたします。
- 当日の駐車や搬入は、職員の指示に従ってください。駐車場の数に限りがあります。ご了承ください。
- 例年と会場が異なるため、分配機をはじめとする音響設備、Wi-Fiがございません。予めご準備をお願いいたします。
- 電源コンセントの数に限りがございます。ご了承ください。
- 例年実施していた、受賞発表前の「技術説明会」は、本年は実施いたしません。宮坂特任教授は受賞した場合のみ登壇いたします。
- 名刺を2枚ご持参ください。（複数名の場合、代表者のみ）

個別取材について

共同記者会見終了後、個別取材の対応を予定しておりますが、宮坂特任教授の身体的負担を考慮し、事前に調整させていただいた報道機関のみの対応とさせていただきます。翌日以降の個別取材は、受賞後に別途ご案内いたします。

宮坂 力特任教授 プロフィール

略歴

1981年東京大学大学院工学系研究科修了(工学博士)。富士写真フイルム株式会社足柄研究所主任研究員を経て2001年より桐蔭横浜大学大学院工学研究科教授。2005年～2010年に東京大学大学院総合文化研究科教授を兼務。2004年にペクセル/テクノロジーズ株式会社を設立、代表取締役。2017年より桐蔭横浜大学特任教授。専門は光電気化学、有機系の光電変換技術、とくにペロブスカイト太陽電池の開発。受賞は、クラリベートアナリティクス引用栄誉賞(2017年)、加藤記念賞(2018年)、市村学術賞功績賞(2020年)、山崎貞一賞(2020年)、英国RANK賞(2021年)、朝日賞(2024年)、日本学士院賞(2024年)など。

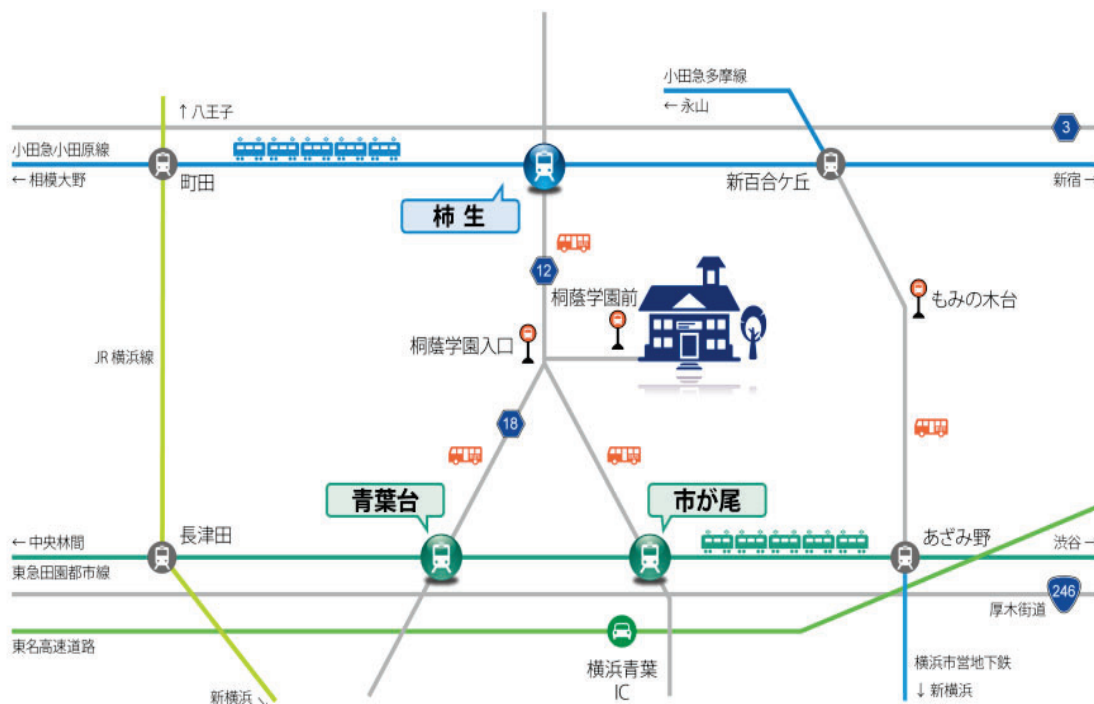
研究成果概要

2009年にペロブスカイト太陽電池の論文を発表。現在はペロブスカイトの化学組成を改良して効率22%以上の太陽電池を開発している。JAXAとの共同研究では、高高度気球用また宇宙衛星用の軽量薄膜ペロブスカイト太陽電池の耐久性評価と実証実験を進めている。軽量でフレキシブルな特徴をもつプラスチックフィルム型ペロブスカイト光発電素子の研究では世界最高に匹敵する効率(21%)を達成し(2020年)屋内IoT用の発電素子としての応用が期待されている。

桐蔭横浜大学までの案内図

東急田園都市線「青葉台駅」「市が尾駅」から車/バスで約15分

小田急小田原線「柿生駅」から車/バスで約15分



会場案内



お問い合わせ先

桐蔭横浜大学

【代表者】学長 森 朋子

【所在地】神奈川県横浜市青葉区鉄町1614番地

【事業内容】4年制大学教育機関

【公式サイト】<https://toin.ac.jp/univ/>

【本件に関するお問合せ】TEL: 045-974-5291 Email: nobel@toin.ac.jp